



この度は **リョウセイ製品**をお買い求め頂き、誠にありがとうございました。

正しくお使い頂くために、この取扱説明書を必ずお読み下さい。万一、ご使用中にわからないことや具合の悪いことが起きた時、きつとお役に立ちます。

製造番号は品質管理上重要なものですから、製品本体に貼り付けしてある製造番号銘板の製造番号が保証書に記載されている製造番号と一致しているかどうかお確かめ下さい。又、製造番号銘板は絶対に剥がさないで下さい。

この取扱説明書では、安全注意事項を「警告」「注意」として区分してあります。

<b>警告</b> WARNING	取扱を誤った場合に、危険な状況がありえ、重傷や死亡につながる可能性が想定される場合。
<b>注意</b> CAUTION	取扱を誤った場合に、危険な状況がありえ、軽傷や中程度の傷害につながる可能性及び対物損害の発生が想定される場合。

## ■ ご使用になる前に

### (1) 確認事項

本機は厳重なる検査の上出荷されていますが、製品が届きましたらまず次の点を確認して下さい。

- 製造番号銘板を確認し、形式、出力、電圧、周波数等がご注文通りのものか。
- 輸送中の事故等で破損していないか。

もし不都合なところがあればなるべく現状のままで型名、製造番号を調べ購入先へご連絡下さい。

### (2) 運搬・据付

<b>警告</b>
・運搬、据え付け作業は専門知識を持った人が行い、落下、転倒に注意して移動させて下さい。けがの恐れがあります。吊りボルトのある機種は必ず吊りボルトを使用して下さい。
<b>注意</b>
・必ず平らな場所に据え付け、必要に応じ基礎工事を行って下さい。転倒の恐れがあります。
・木枠梱包は釘に、ダンボール梱包は針に注意して開梱して下さい。けがの恐れがあります。
・警告表示ステッカーは常に見えるようにし、障害物で隠したり、剥がしたりしないで下さい。

### (3) 使用場所

<b>警告</b>
・引火性・爆発性雰囲気のある場所では、標準使用のままでは使用しないで下さい。けが、火災等の原因になります。労働安全衛生規則、第280条～第282条で示された各種危険場所では、危険場所に適合した、防爆対応機種を使用して下さい。
<b>注意</b>
・屋外仕様機種以外、屋外でのご使用はおやめ下さい。漏電の恐れがあります。
・お客様による製品の改造は弊社の保証範囲外ですので、責任は負いません。

・周囲温度が－15℃～＋40℃以下、湿度は80%以下の場所でご使用下さい

### (4) 電源結線時の注意事項

<b>警告</b>
・結線・配線作業は専門知識を持った人が行って下さい。感電、けが、火災等の恐れがあります。電源の結線は、接続図をもとに実施して下さい。感電や火災の恐れがあります。
・漏電による感電事故防止のためにも必ず本体を接地抵抗100Ω以下のアースに接地してからご使用下さい。(差し込みプラグ又は、端子、端子台に付属したアース線を必ず接地して下さい。)アース線は緑色です。(電気設備技術基準第18条～28条)
<b>注意</b>
・配線は、電気設備技術基準及び電力会社の規格に従って施工して下さい。特に配線距離の長い場合は、電圧降下が起るため配線容量は電圧降下が2%以下になるよう選んで下さい。
・弊社の製品(特殊設計のものは除く)には、過負荷保護装置が取り付けられていますが、火災及び感電事故防止のために漏電遮断器等を設置することを推奨します。

- 本機は必ず銘板記載の電圧、周波数の電源でご使用下さい。
- 電源線を接続するブレーカーの容量は製造番号銘板記載の約3倍のものをご使用下さい。

(5) ダクト、フード等の設備は事前にお打ち合わせの上、効率良く配管して下さい。

## ■ 使用上の注意事項

### (1) 電源

- 電源線及び電源プラグは確実に接続してお使い下さい。

<b>警告</b>
・電源コードを曲げたり、踏んだり、挟んだりしないで下さい。感電の恐れがあります。又、コードは油、ガソリン等で溶ける場合がありますので、十分注意して下さい。
・制御盤、端子箱扉(蓋)を開けたままの状態では運転しないで下さい。感電の恐れがあります。
・停電した時は必ず電源スイッチ又は主電源を切って下さい。機種によっては停電復帰時に運転が始まり、けがをすることがあります。

- 移動用車輪が付いている場合には、転倒防止のため、電源コード／ホース等を引っ張って本体を移動させないで下さい。移動させる場合は、必ず本体自体を動かすようにして下さい。

- 差し込みプラグがある場合でプラグをコンセントから抜く時は、コードを引っ張らずに必ず差し込みプラグを持って抜いて下さい。

### (2) 運転

<b>警告</b>
・運転中であるか否かにかかわらず、吸込口より、火気類を吸い込ませたり投げ入れたりしないで下さい。火災の原因になります。
・運転中は、点検扉を開け、手や物を入れないようにして下さい。けがの恐れがあります。
・この製品では、引火性・爆発性のある粉塵や、ガスを吸引したり、もしくは危険場所に設置することはできません。

- この製品は、乾いた粉塵の吸引用です。油分や水分等、湿った粉塵は吸引しないで下さい。

- 本体ブラシレスモーターの加熱焼損防止のため、吸引口や排気口及び冷却風取入口を塞ぐ使い方は絶対お止め下さい。

- セメント、石灰、薬品、トナー等、微粒子粉を大量に吸引する場合は、フィルターの布目を通過して極微粒子が排気と共に機外に排出される場合があります。これが障害となるようなクリーンルーム、病院、薬品会社等には排気用にクリーンルーム用HEPAフィルターを設置した機種をご使用下さい。

- 機種によっては使用できない粉塵もございます、移設等に伴い吸引する粉塵が変わる場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

### ○運転方法

- 電源を確実に接続し、運転コントローラー(RH3)の「ブロー運転／停止」スイッチを押すことによりブロー運転が可能になります。又、停止する場合は、運転コントローラーの「ブロー運転／停止」スイッチを再度押して下さい。(RH3マニュアル参照)

- 機械と連動して動かす場合は、運転コントローラーの「ブロー運転／停止」スイッチをOFFにした状態で、端子台の1と2に機械からの運転信号を与えて下さい。(RH3マニュアル参照)

### (3) 塵落とし(クリーニング)

- 長時間ご使用になりますと、濾過フィルターに粉塵が堆積して吸引風量が低下します。この場合には、一旦運転を停止してフィルターの塵落としを行って下さい。前面のシェーキングレバーを前後に動かすことによって、フィルターの塵落としが可能です。(10回程度行って下さい。)

### (4) 粉塵の処理

- 塵落としの(クリーニング)終了後、バケツ内の粉塵は、その都度排出するようにして下さい。粉塵を長期間溜めたままにしておくと、バケツ内部で粉塵が固まり、フィルターの目詰まり、火災等の原因になります。

### ○バケツの取り外しについて

- RH-200C型
- バケツの取り出しは、フィルター点検扉の固定金具を外し開いてからバケツを手前に引き出して下さい。

### RH-200C型

- バケツの取り出しは、フィルター点検扉の固定金具(2ヶ所)を外し取手によりバケツを手前に引き出して下さい。

## ■ 長くご使用頂く為の保守点検

### (1) 保守点検

<b>注意</b>
・各種点検、修理、分解のさいは必ず電源スイッチ、又は、主電源を切って下さい。感電、けが、火災等の恐れがあります。

### ※保守点検時の注意事項

- 保守点検作業時は、貴社安全管理規則及び労働安全衛生規則に基づき、十分な安全確認を行って下さい。

- 保守点検作業は、作業服を着用し、防護具(防塵マスク、保護眼鏡等)を装着するようにして下さい。

- 可燃性物質を取り扱っている場合は、火気厳禁として下さい。

- 本機を作動しない保守点検作業時は、主電源を切り、運転禁止等の表示をして下さい。

### ※保守点検項目

- 運転作業前
- ・外観検査にて、機能上有害な変形、破損等が無いか確認します。

- ・フィルター点検扉、バケツ部分が確実に閉まっているか確認します。

- ・バケツ内の粉塵が処理されているか確認します。

○運転作業中

- ・フィルター点検扉、バケツ等のパッキンより、空気漏れが無い確認します。
- ・運転コントローラーの表示灯（電源、運転等）が点灯しているか確認します。（ROPE S/RH3 マニュアル参照）
- ・モーターからの騒音が大きくなっていないか確認します。

- ・配管ダクトの吸い込み口を全て開放して、電流計を用いて電流値を確認します。定格値を大きく下回るようだとフィルターの目詰まりが予想されます。

○定期点検・分解時

- ・フィルターを点検し、汚れがひどい場合は清掃又は交換、一部でも破れ、穴空きがある場合は交換して下さい。

- ・フィルター点検扉、バケツ部のパッキンを点検して下さい。異常な変形、劣化がある場合は新しいパッキンと交換して下さい。

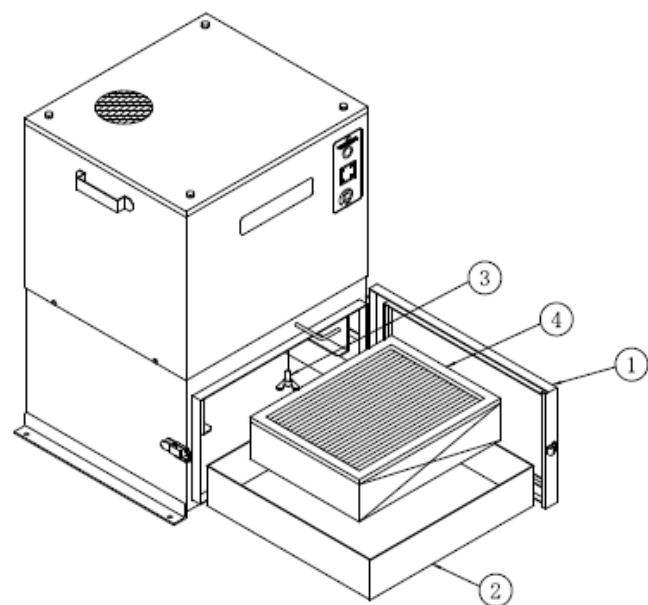
○その他の部分

- ・フード、ホース、配管部の取り付け不良、変形、破損等が無い、又は、運転した場合は接続部からの空気漏れがないか点検して下さい。内部に粉塵の堆積がある場合は清掃して下さい。

- ・制御盤内部に粉塵の堆積がないか確認して下さい。導電性粉塵の場合、短絡、地絡の原因にもなりますので定期的に清掃して下さい。

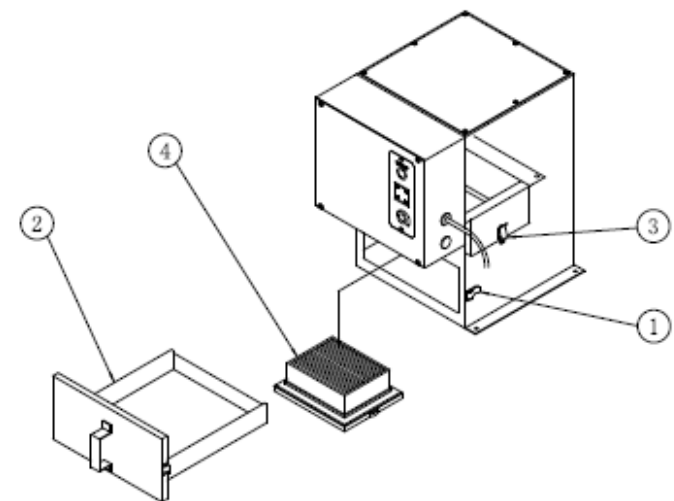
○フィルター交換手順

- RH-200C型
- ①フィルター点検扉の固定金具を外します。
  - ②バケツを手前に引き出し取り出します。
  - ③蝶ネジを緩めます。
  - ④フィルターを手前に引き出し取り外します。
- ・フィルターを交換又は清掃の後、フィルターを差し込みフィルター固定します。
  - ・バケツのゴミを処分した後、バケツを本体に入れ、フィルター点検扉を閉めて固定金具で固定します。



RH-200C型

- ①バケツ固定金具を（2ヶ所）外します。
  - ②バケツを取り外します。
  - ③フィルターを固定してある金具を外して下さい。
  - ④フィルターを押さえ部分と共に取り出します。
- ・フィルターを交換、又は、清掃した後、逆の要領でフィルターを取り付けて下さい。
  - ・フィルター取り付け後、フィルターが確実に装着されているか確認して下さい。



○HEPAフィルター

HEPAフィルターが装着してある場合、一次フィルターで捕集できなかった微細な粉塵は、HEPAフィルターで捕集されます。HEPAフィルターは再生出来ませんので、適当な時期（差圧測定の場合最終圧損0.5kPa以上）になったら新しい物と交換して下さい。

■ アフターサービスについて

- (1) 保証書  
保証期間はお求めの日から一年間です。
- (2) 保証期間中に正常な使用状態にて万一故障した場合には、次項の「故障かなと思ったら・・・まず点検」の表に従って調べて頂き、尚、異常のある場合はお買い求めの販売店又は弊社までご連絡下さい。
- (3) 保証期間でも次の場合は有料になります。
  - ①使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障・損傷
  - ②フィルター、標準付属部品等、製品の消耗部品の交換・修理
  - ③お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障・変形
  - ④地震、火災や天災地変による故障・損傷
  - ⑤異常電圧による故障・損傷
  - ⑥本保証書の未記入、あるいは勝手に字句を書き換えられた場合
  - ⑦吸引口、又は排気口が連続的、又は断続的に閉鎖する使用方法でブロワーモーターが故障した場合
  - ⑧借受け（リース物件）

- (4) 保証期間経過後に修理を依頼される時  
お買い求めの販売店又は弊社までご連絡下さい。修理により製品の性能が維持できる場合には、有料にて修理いたします。
- (5) 修理用性能維持部品の最低保有期間  
弊社では吸じん機各タイプの修理用性能維持部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しております。
- (6) 保証期間中の修理等アフターサービスについてご不明な点はお買い求めの販売店又は弊社までご連絡下さい。
- (7) この保証、サービスは日本国内に限り有効です。  
(This warranty and service are valid only in Japan.)

■ 故障かなと思ったら・・・まず点検

症状	考えられる原因	対策
スイッチを入れても、始動しない	電源が入っていない	電源を入れる
	過負荷保護装置が作動している	原因を調査して、不具合を修正後に再起動する
	起動、停止を繰り返した為保護装置が作動	時間をおいて再起動する
	スイッチ接触不良	修理・交換
モーターが運転中に止まる	モーター故障	修理・交換
	電源コード(配線)断線	修理・交換
	起動、停止を繰り返した為保護装置が作動	時間をおいて再起動する
振動、騒音が以前より大きい	モーター故障	修理・交換
	モーターの損耗	修理・交換
排気口から、粉塵が吹き出す。	モーター取付部、その他締付け部が緩んでいる	点検・増し締めして下さい
	バケツが一杯になっている	粉塵の処理
吸引力の低下、又は、引しない	フィルターの取付不良	点検
	フィルターの目詰まり	清掃・交換
	バケツが一杯になっている	粉塵の処理
	バケツ装着不良	確実に装着
	ダクト、ホース内の詰まり	清掃
	ダクト、ホースの変形、破損	交換
	ダクト、ホースの接続不良	点検
バケツ部パッキンの不良	交換	

△ 注意

- ・フィルターを点検・交換する場合は必ず主電源を切り、機械が完全に停止したことを確認した後に行って下さい。
- ・フィルターの装着や着脱時には、突起物等で指を切る恐れがあります。必ず手袋等をはめて作業することをお勧めします。
- ・フィルターの装着が不完全な場合、排気口より吸引した粉塵が吹き出る場合があります。確実に装着されている事を確認して下さい。

リョウセイ株式会社

〒463-0048 名古屋守山区小幡南二丁目6番8号

名古屋本社 TEL (052) 794-3211(代)  
 東京営業所 TEL (03) 3835-4451(代)  
 大阪営業所 TEL (06) 6302-8055(代)  
 福岡営業所 TEL (092) 947-2821(代)